（有）三喜　なんでも出来るそれが売り

子供参観日

2011年7月26日（火）
有限会社　三喜

同僚の早退も心良く受け止める気運づくり。

まずは、子どもたちに仕事の大変さを少しでも理解してほしいと考え、分かりやすい資料を作成し、会社の概要を説明しました。次に、事前に書いてきてもらった履歴書を元に、面接体験を行い、面接を受ける時にどんなことが聞かれるか、面接では何が大事かを分かりやすく説明しました。

面接を終え合格発表の後、本格的に就業体験！来客へのお茶出し、掃除、植木の水やり、パソコンの操作体験などを行い、工場での溶接作業やCADでの図面作成も見学してもらいました。車椅子で働く人の仕事の様子についても紹介し、従業員と子どもたちとの質疑・応答・意見交換も行いました。

全ての作業が終わったら、一日体験でお仕事をした子どもたちに対する「バイト代の受け渡し」として、実際に領収書に記名捺印をしてもらいました。みんな初めての体験で、ドキドキしていたようです。

子どもたちは、保護者たちがどんな仕事をしていて、どんなに大変なことかが、よく分かったようです。「主人の仕事内容を知ることができて、とても良かった」という、母親からの声も聞かれました。今回の取組により、従業員が、同僚の早退を心良く受け止めるような、心の変化が起きたと思います。

開催日時	平成23年7月26日
開催場所	安登営業所、事務所及び工場
こどもの参加人数（学年又は年齢）	7人（5～16歳）
こども以外の参加人数	6人
主な取組内容	会社の概要説明、社内見学、保護者の仕事の体験（パソコン、来客の応対、掃除、植木の水やり）従業員と子供のとの質疑、応答、意見交換
取組のきっかけや背景	従業員の子供たちが、仕事の大変さを少しでも理解してほしい。
取組にあたって工夫した点・苦労した点	子供たちが、理解できる資料作成及び説明の方法。
取組に伴う効果、従業員の変化等	子供たちが、親の仕事の大変さが、わかった。親が、どんな仕事をしているかがわかった。従業員が、同僚の早退を心良く受け止める。
参加者の声	●こども…お母さん、お父さんの仕事の大変さがわかった。これからも頑張ってください。 ●保護者…主人の仕事内容を知る事が出来て、とても良かった。

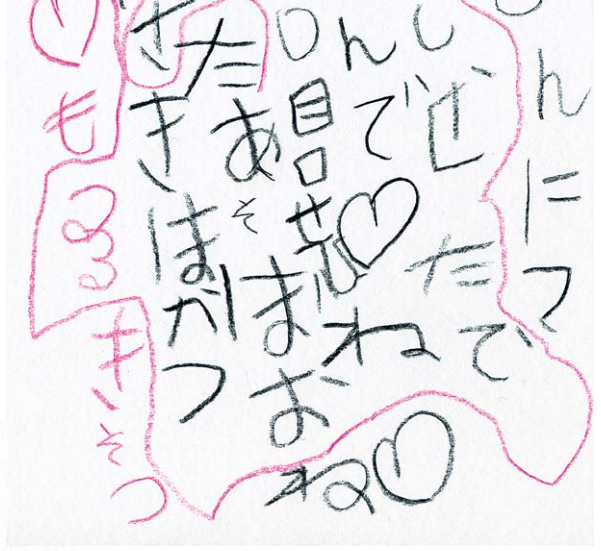
きょうのこと
今日は、きてよかったです。なんでかとゆうと、おもしろかったから、苦労してるなぁとおもいました。今日は本とうに有難がとうございました。

とても　仕事がたいへんだと思った。

ゆうたとあそんだ。

お母さんたちの大変さがわかりました。

今日、仕事を体験してみてお母さん達の大変さが分かりました。これからもがんばってほしいです。

仕事が大変だと思いました。

お母さんが大変だということが分かりました!!